

東川町地域公共交通活性化協議会 平成20年2月4日設置



概要

東川町は、旭川市との間を結ぶ民間路線バスと町内移動を担う町営バスが住民生活に不可欠な公共交通となっているが、利便性の問題やマイカーの普及により町営バスの利用は低調であるほか、天人峡温泉や旭岳温泉等の大雪山国立公園内の観光地への観光交通の整備が課題となっている。このため、民間路線バスと町営バスの連携、町営バスの路線再編、町内の観光地への観光交通の整備等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・旭川電気軌道(株)(東川線、天人峡・旭岳線)
- ・町営バス(東忠別線、北忠別線、東雲・上岐登牛線)
- ・東川町観光協会の委託運行(旭川空港、旭山動物園)
- ・専用バス(幼児センタースクールバス、第二小学校スクールバス、いきいきセンターバス、診療所通所バス、福祉バス)

○地域公共交通の課題

- ・町営バスの利用が低調
- ・天人峡温泉・旭岳温泉等への観光交通の整備

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(町民ヒヤリング)
- ・町営バスの路線再編の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バスの路線再編の検討
- ・民間路線バスと町営バスの連携の検討
- ・天人峡温泉、旭岳温泉等への観光交通の整備の検討

